

No. 3161

2026-2027年度

会 長 菅原 佳典
幹 事 福原 陽司
クラブ広報副委員長 井上 修平



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



持続可能な
インパクトを
生み出そう

2026-2027年度クラブ方針

「地域に与えられる影響とは何かを
考えよう」～奉仕による社会への影響～



次回のお知らせ

令和8年8月27日 第3163回

- ・ 会員卓話：福原 陽司君
「台北RI国際大会報告」
- ・ ソング「それでこそロータリー」

本日のプログラム

令和8年8月20日 第3162回

- ・ 外部卓話：井沢元彦氏（作家・歴史家）
「日韓関係の深淵」
- ・ ソング「四つのテスト」

前回の報告（第3161回例会）

開催日 令和8年8月6日(木)

点 鐘 〔菅原会長〕

ゲストの紹介 〔親睦活動委員会 中村委員〕

ゲスト：吉野 有美氏（有田市健康推進課 課長、保健センター長）

今月の誕生祝

〔クラブ管理運営委員会 川口委員長〕

配偶者誕生：井上恵実さん（8/8）

おめでとうございます！

二コ二コ箱の報告 〔橋爪（誠）SAA〕

菅原君：有田市保健センター長 吉野課長様、本日の卓話宜しく願いいたします。熱中症対策勉強させていただきます。

福原君：吉野有美様、ようこそ有田RCへ。本日卓話よろしく願いいたします。

石垣君：吉野有美様、本日の卓話よろしく願いいたします。

上野山（捷）君：吉野有美様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。本日の卓話よろしく願いいたします。

中村君：吉野有美様、ようこそ有田RCへ。熱中症のお話し楽しみにしております。

松村君：吉野有美様、タイムリーなお話し楽しみです。みなさん体調はいかがですか。私は少々腰が痛みます。

井上君：吉野有美様、卓話よろしく願いいたします。

川口君：吉野有美様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しく願いいたします。勉強させていただきます。

木本君：有田市保健センター長 吉野有美様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しく願いいたします。

ます。

児嶋君：吉野有美様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしく願いいたします。

酒井君：吉野様、有田RCにお越しく下さりありがとうございます。卓話楽しみにしております。

橋爪（誠）君：吉野保健センター長様、ようこそ有田RCへ。この夏ピッタリのお話し勉強させていただきます。

出席報告

〔クラブ管理運営委員会 木本委員〕

本日の出席者16名／23名

（うち出席規定免除者5名／7名）

会長の時間

〔菅原会長〕

本日は、有田市健康推進課 課長で保健センター長の吉野有美様をお迎えし、「地域の健康を守る ～熱中症から命を守るために～」をテーマに卓話をいただきます。吉野課長、どうぞよろしくお願いいたします。



さて、今年の夏は例年にも増して厳しい暑さとなっています。気象庁は今年、40℃以上の日を「酷暑日」とし、天気予報でも使われ始めました。それほど日本の夏は危険な領域に入っています。また、環境省と気象庁が発表する「熱中症警戒アラート」も連日目にするようになりました。これは暑さ指数(WBGT)が33以上と予想される場合に発表され、35以上では「熱中症特別警戒アラート」となります。熱中症の詳細は吉野課長よりお話しいただきますのでこれくらいにして。

ここからは、この暑さと関係する「蚊」の話題に触れたいと思います。世界には3,500種以上、日本には約100種の蚊が生息し、そのうち人を刺すのは20種ほどです。また、普段私たちの周りの室内でよく見られるのはアカイエカやチカイエカ、屋外で「やぶ蚊」と呼ばれる白黒の模様の蚊は

ヒトスジシマカです。

蚊が媒介する感染症にはデング熱、マラリア、日本脳炎、ジカウイルス感染症などがありますが、日本では海外からの持ち込みによるデング熱の輸入症例が年間200例前後報告されています。デング熱を媒介するのは主にヒトスジシマカで、ヒトからヒトへ直接感染することではなく蚊を介してのみ感染します。初回感染では症状が出ないこともありますが、再感染で発症するデング出血熱は致死率が10～20%に達することもあり注意が必要です。外出時は明るい色の服装や長袖・長ズボン、虫よけスプレーの使用を心がけてください。

今年の蚊には特徴があり、「数が多い」「活動期間が長い」ことが指摘されています。気温が高いと成長が早まり、短期間で次世代が生まれるため数が増えます。さらに、25～30℃で活発に活動するため、残暑が続くと11月頃まで蚊が多い可能性があります。冬でも種類によっては成虫や卵で越冬し、気温が高ければ吸血活動が続けるものもあります。

冬になっても蚊は生き続けているのです。ご注意ください。

幹事報告 [福原幹事]

- 1.ロータリー日本財団より届いた確定申告用寄附金領収証を本日配布しています。再発行はできませんのでご注意ください。
- 2.国際ロータリー2640地区ガバナー事務所の夏季休暇のお知らせが届いています。期間は8/11～8/16。
- 3.和歌山城南RC事務局メールアドレス変更のお知らせが届いています。
- 4.米山梅吉記念館より館報が届いています。回覧
- 5.Rotary誌が届いています。回覧



卓 話



有田市健康推進課 課長
保健センター長
吉野 有美 氏

「地域の健康を守る ～熱中症から命を守る～」

近年、気候変動の影響により、猛暑日や熱帯夜が増加し、熱中症は全国的に深刻化しています。救急搬送者数や死亡者数は増加傾向にあり、熱中症はもはや一部の地域だけの問題ではありません。

熱中症の危険性を判断するには、気温だけではなく、湿度・日射・風を総合的に評価した「暑さ指数(WBGT)」が重要です。この指数を基に発表される熱中症警戒アラートは、危険な暑さを事前に知らせ、行動を変えるための情報です。

和歌山県は、最高気温のランキングでは上位ではありませんが、熱中症警戒アラートの発表回数は全国でも多

く、熱中症リスクの高い地域であることが分かります。また、アラートの発表回数が多い地域ほど人口当たり(10万人換算)の熱中症死亡者数も多くなる傾向が見られます。一方で、同じように暑い地域でも死亡者数には差があり、それは暑さへの備えやエアコンの利用、地域の啓発などの違いが影響していると考えられます。つまり、熱中症は対策によって防ぐことのできる健康被害です。

また、「我慢すれば大丈夫」「日陰なら安全」といった思い込みが、熱中症を招く要因になることも少なくありません。今の暑さは昔とは異なります。我慢せずに休憩し、適切にエアコンを使用することが、自分や周囲の人の命を守ることに繋がります。

熱中症を予防するためには、①エアコンを適切に使うこと、②のどが渇く前からこまめに水分を補給すること、③日頃から暑熱順化を心掛けること、④家族や近所の高齢者などへ「暑くないですか」「エアコンを使っていますか」と声を掛け合うことが大切です。

暑さは変えられませんが、熱中症で亡くなる人の数は変えられます。和歌山県は全国的に見ても熱中症リスクの高い地域です。一人ひとりが正しく知り、正しく恐れ、正しく行動することで、多くの熱中症は防ぐことができます。今日からできる小さな行動が、自分自身や大切な人の命を守る第一歩となります。

閉会・点鐘

[菅原会長]

例会風景

